

子供の体力低下 (2006年10月9日)

文部科学省が10月8日に公表した2005年度「体力・運動能力調査」結果(調査は05年5月～10月、6歳から79歳の男女計約7万4000人を対象に実施)で、朝食を食べなかったり、テレビを見る時間が長かったりする子供の体力は相対的に低いことが明らかになった。また、小中高生の体力は、1985年をピークに低下傾向が続いていたが、今回の調査でもこの傾向は変わらない。